

科目名	成人看護 I (成人看護概論・がん看護)				DP1、DP2 DP3、DP4	看護高等課程	
学年	1年	分野	専門 成人看護	時間数	21時間	担当 教員	外部講師
科目 概要	成人看護の対象である青年期から壮年・中年期、向老期までの身体的、精神的、社会的特徴とそれぞれの発達課題や健康問題について理解し、健康状態に応じた患者の看護・障害を有する患者の看護・がんをかかえて生活する患者の看護、終末期にある患者と家族への看護について学ぶ。 また人口動態や主要死因別の死亡順位、年齢階級別主要死因順位などの統計的視点から、成人期の保健上の課題を明らかにする。						
到達 目標	1. 成人期にある対象の特性を理解できる。 2. 成人期における健康問題の特徴を知り、ニーズに応じた看護を理解できる。						
回数	単元項目	授業内容			形態	担当教員	
1～10	ライフサイクルにおける成人期	ライフサイクルとは 成人期の区分 発達段階と発達課題			講義 演習	外部講師	
	成人各期の特徴	青年期の特徴 壮年期の特徴 向老期の特徴			講義 演習		
	成人の健康の動向と対策	成人期の人口 成人期の健康 成人の健康を維持するための政策 (生活習慣病・感染・職業・ストレスと健康障害と対応策)			講義 演習		
		一次・二次・三次予防の現状と対応 医療・福祉施策の変遷、災害看護			講義 演習		
	健康状態に応じた臨床看護実践	成人患者への臨床看護実践に求められる姿勢 急性の状態(健康危機状況)にある患者の看護			講義 演習		
	健康障害を有する患者の看護	障害を有する患者と家族、リハビリテーションとは、国際生活機能分類(ICF)、看護師の役割、難病対策(ALS事例:コミュニケーション・ボード)			講義 演習		
慢性疾患をかかえて生活する患者の看護	慢性疾患、慢性疾患をかかえた患者と家族、看護師の役割			講義 演習			
がんをかかえて生活する患者の看護	がん、がんの告知と治療法の選択、がんの診断と治療、がん対策基本法、看護師の役割			講義 演習			
終末期にある患者とその家族への看護	終末期がん患者と家族、終末期がん患者と家族に対する看護師の役割 麻薬管理・痛みのスケール、緩和ケア			講義 演習			
11	試験	(1時間)			試験		
評価 基準	100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。						
評価 方法	出席状況と講義への参加態度、筆記試験などで総合的に評価する。						
教科書	新看護学9 成人看護 [1] 成人看護総論 呼吸器 消化器 医学書院 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点							